

アルス

アルス(ARS)とはラテン語で、ARTの源である。つまり、熟練、技術、学術、芸術、知識、学、原理…といったような意味をもつ。新潟工業短期大学を設置する学校法人は新潟科学技術学園と称すが、そこにいう「技術」の源流はまさしくアルスに求められなければならない。本学は単なる技術屋の養成ではなく、技術と知識と心が一体となって、アルスの領域にまで高められるそういった人間を生み出そうと指向している。



＝ご挨拶＝



新潟工業短期大学後援会
会長 西村 俊男
(文信堂書店 会長)

令和2年度後援会会長を務めさせていただきます西村でございます。

後援会員の皆様には、日頃から本会の活動に対してご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本会では、新潟工業短期大学の教育目的を達成し、その発展に寄与することを目的に、在学生の保護者の皆様をはじめ、教職員や本会の趣旨に賛同する方々のお力添えにより、各種の後援事業を行っております。学生の皆さんにとって、勉学に励むことはもちろんですが、課外活動や学友会活動を積極的に行うことは、正課の授業だけでは得られないものを補うという点からも非常に大切なことです。本会は、積極的かつ効果的な後援事業により学生が充実した大学生活を送れるよう、今後とも大学と連携しながら取り組んでまいりますので、皆様にはこれまでと同様にご指導・ご支援くださいますようお願い申し上げます。

＝ご挨拶＝



新潟工業短期大学後援会
顧問 佐藤 孝
(新潟工業短期大学学長)

初めてご挨拶申し上げます。私は、本年4月に学長を拝命いたしました。就職や国家資格取得は昨年度も順調で、本学の伝統の重みを感じております。今年度は、新型コロナウイルス流行を受けて、その対策に追われています。感染防止対策としては、後援会そして本学同窓会の皆様のご援助を頂いて、早い時期にマスクを配布させていただきました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。また、講義室の人数制限や授業開始時間の変更など、キャンパス内や通学時の3密を避ける工夫を行い、現時点まで感染者を出さずにきております。さて本学では、2019年度から留学生の受入を積極的に始めました。しかし多くの留学生は、このコロナ禍により仕送りやアルバイトが激減して、食料の購入や家賃の支払いのお金がなく、困っております。そこで食料の配布を、学内有志の寄付やフードバンク新潟、新潟市社会福祉協議会の皆様のご支援を受けて行っていました。現在、今後の更なる支援についての検討を進めておりますので、これまでも、学友会活動・国家資格取得、等にもご支援を頂いておりますが、これからも引き続きご支援を頂ければ幸いに存じます。どうかよろしくお願いいたします。

令和2年度後援会役員名簿 (敬称略)

【役員】		
会 長	㈱文信堂書店 会長 西村 俊男	賛助会員
副会長	家後 和也	父母会員
2年生評議員	家後 和也	父母会員
	佐々木有希子	父母会員
1年生評議員	赤塚 美由紀	父母会員
	作田 恵	父母会員
監 事	石黒 健一	賛助会員
	高野 剛	特別会員(本学教授)
幹事長	坂井 淳	特別会員(本学講師)
幹 事	川崎 信隆	特別会員(本学講師)
	太田 卓馬	特別会員(事務部長代理)
【顧問】		
顧 問	佐藤 孝	新潟工業短期大学長

MESSAGE

新型コロナウイルスの影響で変則的な令和2年度のスタートとなりましたが、1年生の皆さんは学校に慣れ面白くなってきましたか。また2年生は自動車技術、電子制御の各コースに分かれていましたが、それぞれの授業、実習は楽しいですか。さて、皆さんの趣味は何でしょう。サッカー、テニス、スノボ、ドライブ、音楽、釣り、写真等々いろいろありますね。これらは一定のスキルや知識を身につけたほうがより楽しくなりやすいですね。実は学校の授業や実習も全く同じで、少し知識やスキルがアップしないと面白さがなかなか実感できません。ではどうすればいいか。先生やクラスメートに恥ずかしがらず何でも聞く(質問する)ことです。インターネットでも調べましょう。同じことを何度でも、もちろんOKです。スキルがアップすると同じ質問と答えのようでも中身は全く異なります。皆さん、これからをより楽しくするために、まずは細かいことでもいいのでどんどん聞きましょう。そして聞かれたら丁寧に答えましょう。それによってより深く自らの理解が進み学校が楽しくなりますよ。



自動車工業科
教授 齋藤 博

2年生・自動車技術コースの皆さん

二級自動車整備士資格 合格にむけて

整備技術講習が始まりました

二級自動車整備士国家試験はガソリンとジーゼルそれぞれに学科試験と実技試験があります。実技試験免除となる整備技術講習は、卒業見込みの方を対象に卒業の半年前から行うため、後期授業開始前から始まり、ガソリンとジーゼルの2つが行われます。今年度も後期の授業スタート前の9月18日から技術講習が始まりました。国家試験対策の模試期間を含めると、3月19日迄の半年間となりますので、怪我や病気に十分注意され、整備士資格を取得せずに就職することのないよう、後期は明確な目標を持って取り組んでいただきたいと思います。

電子制御関連の資格試験について

電子制御コースでは、ビルの設備や工場の生産ライン等で使われる電子制御装置について学習し、制御装置をプログラムする電気機器組立て技能士(シーケンス制御作業)と、制御装置を整備(保全)する機械保全技能士(電気系保全作業)の取得を目指します。

今年度は感染症対策のため、前期の機械保全技能検定は中止となりました。しかし、卒業後の受験に備えて、試験対策は例年通り実施しています。一方、後期の電気機器組立て技能検定は例年通りの実施を想定しています。学科試験は1月下旬、実技試験は2月上旬の予定で、気候だけでなく定期試験とも重なる時期のため、学生の体調に気を配って取り組んでいます。

昨年度の資格取得率(在籍者数に対する合格率)

機械保全(電気系保全作業) 46.2%(学科76.9%、実技53.8%)
電気機器組立て(シーケンス制御作業) 61.5%(学科100%、実技61.5%)

昨年度の整備技術講習修了率
ガソリン97.0% ジーゼル91.8%
国家試験(学科試験)の合格率
ガソリン100.0% ジーゼル95.6%

〈整備技術講習〉
ガソリン：9/18(金)～2/13(土)
ジーゼル：11/11(水)～2/13(土)

〈国家試験学科試験対策 模試期間〉
ガソリン：1月上旬～3/19(金)
ジーゼル：2月上旬～3/19(金)

〈国家試験(学科)〉
試験日：令和3年3月21日(日)
(会場：新潟工業短期大学・2号棟)

1年生へ

進路確定にむけて

短期大学では、2年に進級するとすぐに就職活動が本格化するため、今から進路の目標を定め、意識を高めて自立する準備を始めることが重要です。近年の進路確定率は、おかげさまで6年連続100%を達成することが出来ました。しかし、油断は禁物です。就職においては、成績は勿論のこと、企業が求める『学生と社会人の違い』、『あたりまえの常識』、『挨拶・礼儀・言葉づかい』が必要になります。日常生活におけるアドバイスなど、保護者の皆様からのご協力をお願いいたします。また、進学では、本学には一級自動車整備士資格の取得が可能な2年制の専攻科があります。資格取得には途切れない学習が効果的です。ぜひ、ご検討ください。本年度は少子化に伴い留学生が多数入学しました。広報・就職支援センターにおいてはこれからも全学生が進路確定できるよう産学連携室とも協力しながら進路指導を行って参りますので、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

〈広報・就職支援センター〉

SCHEDULE

令和2年度 前期行事

- 4/2 ●プレオリエンテーション・入学式
- 4/8～4/9 ●健康診断
- 5/14～5/15 ●オリエンテーション
- 5/18～9/11 ●前期授業
- 5/24～6/1 ●学内車検
- 6/14 ●創立記念日
- 8/8～8/23 ●夏期休業
- 8/27～9/1 ●損害保険募集人資格講習&試験(2年)
- 9/14～9/18 ●前期定期試験
- 9/18～2/13 ●二級自動車整備士技能講習会(2年・自動車技術コース)

令和2年度 後期行事(予定)

- 10/1～1/29 ●後期授業
- 10/10 ●工場見学(県内整備系企業)(1年)
- 10/10 ●工場見学(県内製造系企業)(1年)
- 12/25～1/6 ●冬期休業
- 1/10～3/20 ●整備士資格試験対策講習(2年・自動車技術コース)
- 1/10 ●3級電気機器組立て技能検定 試験(2年・電子制御コース)
- 2/1～2/5 ●後期定期試験
- 2/10 ●2級機械保全技能検定 試験(2年・電子制御コース)
- 2/10 ●低圧電気取扱従事者特別教育 講習会(1年)
- 2/10 ●合同企業説明会(1年)
- 2/19 ●スキーツアー
- 2/27～3/17 ●春期休業
- 3/17 ●卒業式
- 3/21 ●二級自動車整備士登録試験(2年・自動車技術コース)

※各自動車メーカーによる「自動車技術セミナー」を後期開催予定(日程調整中)です。

SCHOOL LIFE

学生生活紹介

入学式



学内車検



進路ガイダンス



フォークリフト講習



卒業式



NEWS

令和2年度は、全国的な新型コロナウイルスによる大きな影響を受けてのスタートとなりました。皆様のご家庭におかれましても、色々ご苦労があった事と思います。

本学では、学生の飛沫感染予防のために、本後援会と同窓会が協力してマスクを購入し、全学生に配布いたしました。配布されたマスクは、新潟大学医学部とONYONE(長岡市)が共同開発した「ハイブリッドタイプマスクSK」です。このマスクは制菌加工が施され、ご家庭でも洗濯が可能な製品です。冬のインフルエンザ流行期にもご利用いただけます。

また、西区社会福祉協議会様からは、ディスプレイマスク3000枚とフィルターを寄贈いただき、併せて学生に配布いたしました。ありがとうございました。



後援会活動および報告

令和2年度後援会評議員会は、コロナ対策のため書面審議にて開催され、前年度決算および本年度活動方針、予算などが了承されました。本年度もこれまでと同様に学生のための課外活動援助や厚生補導活動援助を中心に積極的支援に努めてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。なお、後援会活動状況および新潟工業短期大学と新潟科学技術学園の情報については次のホームページからもご覧いただけます。

〈新潟工業短期大学後援会に関する情報〉

<http://www.niigata-ct.ac.jp/parents/supporters/#p1>

〈新潟工業短期大学の教育に関する情報〉

<http://www.niigata-ct.ac.jp/about/release/>

〈新潟科学技術学園の財務に関する情報〉

<http://www.niigata-inst-st.ac.jp/info/zaimu.html>



学校法人新潟科学技術学園

新潟工業短期大学
NIIGATA COLLEGE OF TECHNOLOGY

編集発行：新潟工業短期大学後援会

〒950-2076 新潟市西区上新米町5-13-7

TEL 025-269-3174(代)

FAX 025-268-1222

URL <http://www.niigata-ct.ac.jp/>